

## 受水槽付給水ユニット リルポンミニ RMB 型

### お願い

本説明書は、別添の「ホームポンプ取扱説明書」とあわせて保管及びご参照ください。

### **▲ 警告**

この説明書を読んで理解するまでは、給水ユニットの操作および保守・点検を行わないでください。  
この説明書は、給水ユニットの操作または保守・点検を行う場合、いつも調べられるように大切に保管してください。

### 設備工事を行う皆様へ

この説明書は、給水ユニットの操作・保守・点検を行うお客様に必ずお渡しください。



## 保証の限定

1. 保証期間中、正常なご使用にもかかわらず、当社が納入した機械の設計または工作の不備が原因で故障、破損が発生した場合に限り、その部分について無償で修理または交換をします。
2. 前項による保証範囲は、不具合部分の機械的保証までとし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害の補償はいたしません。
3. 以下の故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
  - (1) 故障、破損が当社の納入していない機器が原因で発生した場合
  - (2) 保証期間経過後の故障、破損
  - (3) 火災、天災、地震等の災害および不可抗力による故障、破損
  - (4) 当社に承諾なしで実施された修理、改造による故障、破損
  - (5) 指定品以外の部品をご使用された場合の故障、破損
4. 給水ユニットの誤用や乱用が原因で発生した損害についての責任は全くないものとします。また、このことによる技術員の派遣費用は、有償とさせていただきます。
5. 不具合の原因が不明確な場合は、協議の上処置を決定することとします。

## 本書の目的

本書の目的は、給水ユニットについて正しい操作および保守・点検方法を知っていただくために詳しい情報を提供することです。

また、本書は、給水ユニットの操作経験者または操作経験者から指導を受けた人を対象として制作しており、以下の情報を記載しております。また、配線工事は、電気工事士等の資格を有する人に限定して実施してください。

## 目次

保証の限定	I	
本書の目的	II	
目次	II	
1. 安全について		
1. 1 警告用語の種類と意味	1-1	
1. 2 安全順守事項	1-1	
1. 2. 1 運転操作に関する順守事項	1-1	
1. 2. 2 据付け・保守・点検に関する順守事項	1-2	
2. ユニットの構成と概要		
2. 1 各部の名称	2-1	
2. 2 ユニットの仕様	2-2	
3. ユニットの据付け		
3. 1 ご使用の前に	3-1	
3. 2 据付け時の注意事項	3-1	
3. 3 配管工事の注意事項	3-2	
3. 4 配線工事の注意事項	3-4	
3. 5 防寒対策に関する注意事項	3-4	
3. 6 運転及び取扱い	3-5	
4. 故障の原因と対策		4-1

# 1. 安全について

## 1.1 警告用語の種類と意味

取扱説明書では、危険度の高さ(または事故の大きさ)にしたがって、次の4段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

警告用語	意味
 <b>危険</b>	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは、重傷を負う場合に使用されます。
 <b>警告</b>	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは、重傷を負うかもしれない場合に使用されます。
 <b>注意</b>	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽傷を負う場合または機器・装置が損傷する場合に使用されます。
<b>注記</b>	特に注意を促したり、強調したい情報について使用されます。

## 1.2 安全順守事項



電動機や制御盤の絶縁劣化等は、漏電、感電または火災の原因となります。  
機器の寿命や破損防止を考慮し、換気を十分に行い周囲温度0~40℃としてください。また、ほこり、腐食性及び爆発性ガス、塩分、湿気、結露などがなく、屋内設置型に関しては風雨や直接日光が当たらないようにしてください。



ご使用の設備は、定期的に点検及び各 부품のメンテナンスを行い、維持管理を行ってください。



電動機や制御盤は一定年数を超えて使用されますと、経年劣化による発火等の事故に至るおそれがあります。

### 1.2.1 運転操作に関する順守事項

- (1) 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しないでください。火災・感電の原因になります。

- (2) ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、漏電遮断器を操作しないでください。  
感電の原因になります。
- (3) ポンプカバーを外したままにしないでください。  
電動機内に雨水やほこりが入り、絶縁劣化などで感電や火災の原因になります。
- (4) 凍結防止のために、ポンプカバーや内部の電動機部に毛布などを被せないでください。  
過熱による発火で火災の原因になります。
- (5) 運転中は、ポンプや電動機に触れないでください。  
やけどをすることがあります。
- (6) 本体の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。  
事故の原因になることがあります。
- (7) 空運転(水が出ない状態での運転)は絶対にしないでください。  
火災・感電の原因になることがあります。
- (8) 定格電圧以外では、ご使用にならないでください。  
火災・感電の原因になることがあります。

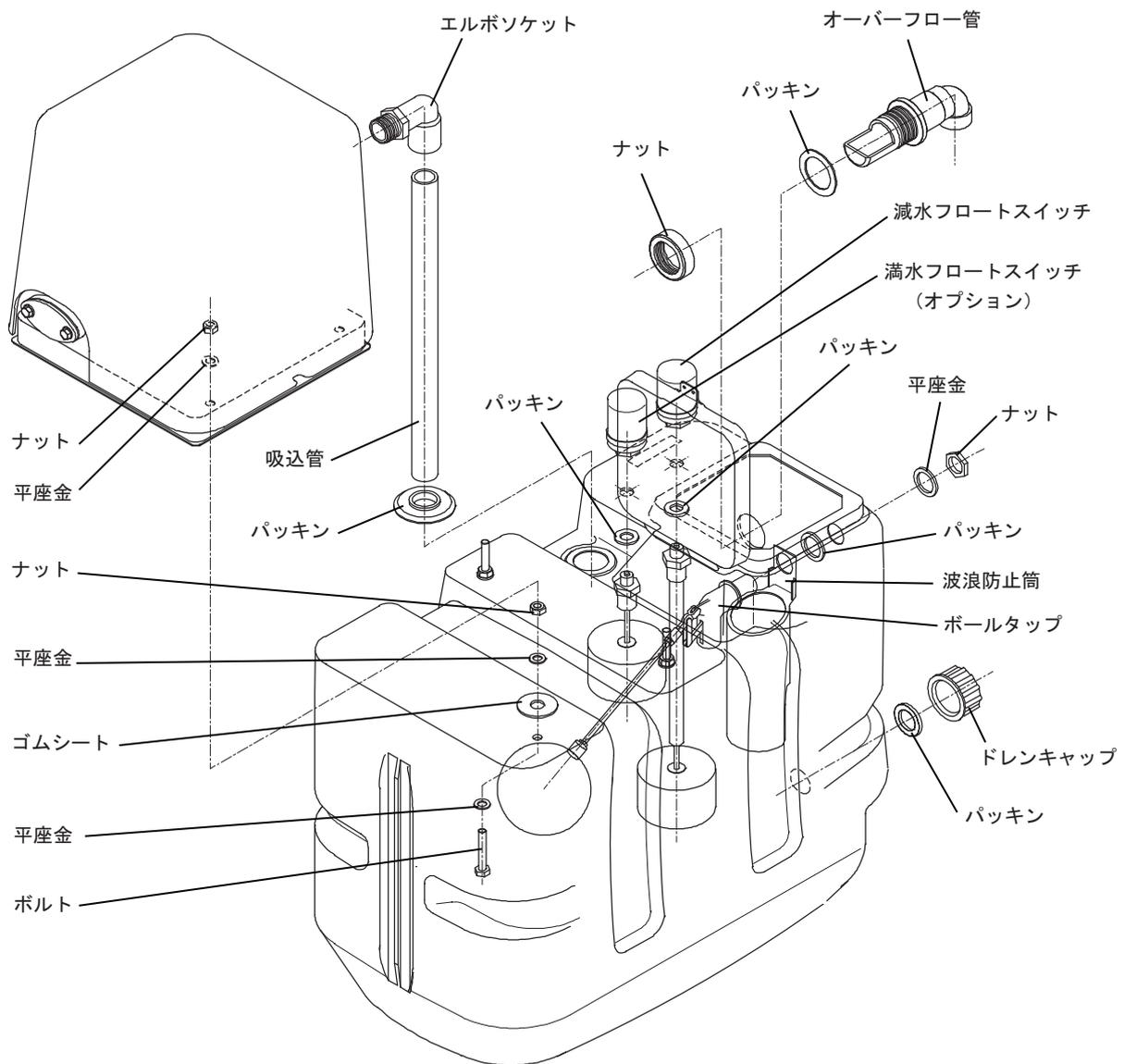
### 1. 2. 2 据付け・保守・点検に関する順守事項

- (1) 絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。  
発火したり、異常動作してけがの原因になります。
- (2) 保守・点検の時は必ず電源プラグを抜くか、漏電遮断器をOFFにしてください。
- (3) ポンプカバー内部に物を入れしないでください。  
過熱による発火で火災の原因になります。
- (4) アース工事は必ず電源プラグを抜くか、漏電遮断器をOFFにして行ってください。  
感電の原因になります。

## 2. ユニットの構成と概要

### 2.1 各部の名称

代表図(RMB0.5型 単独運転)  
※詳細は工事説明書を参照してください。



## 2.2 ユニットの仕様



**警告**

決められた製品仕様以外でのご使用は行わないでください。  
感電・火災・故障の原因になります。

設置場所	屋内・屋外(周囲温度0~40℃)
受水槽	材質:超高分子量ポリエチレン(50ℓ、100ℓ、200ℓ、300ℓ、500ℓ) FRP(1000ℓ)

受水槽型式	受水槽容量 (ℓ)	有効容量 (ℓ)	ボールタップ 口径 (mm)	オーバーフロー 口径 (mm)	カラー
RMB0.5	50	72	20	32	グレー
RMB1	100	138	20	32	グレー
RMB2	200	232	13	32	グレー
RMB3	300	268	13	32	ベージュ
RMB5	500	442	13	32	ベージュ
RMB10	1000	740	13	32	クリーム色 (マンセル2.5Y9/5)

### 3. ユニットの据付け

#### 3.1 ユニットご使用の前に

ユニットがお手元に届きましたら、まず次の事項を確認してください。

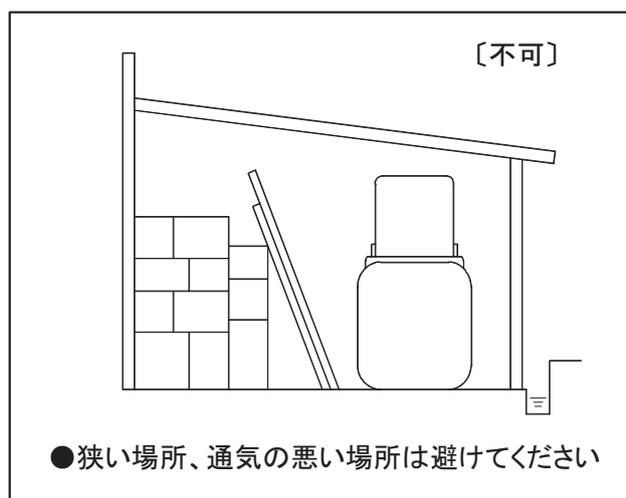
- (1) 銘板記載事項がご注文通りの物であること。
- (2) 輸送中に破損した箇所は無いこと。
- (3) ボルト・ナット等締付け部分が緩んでいないこと。
- (4) ご注文された付属品が全てそろっていること。

#### 3.2 据付け時の注意事項

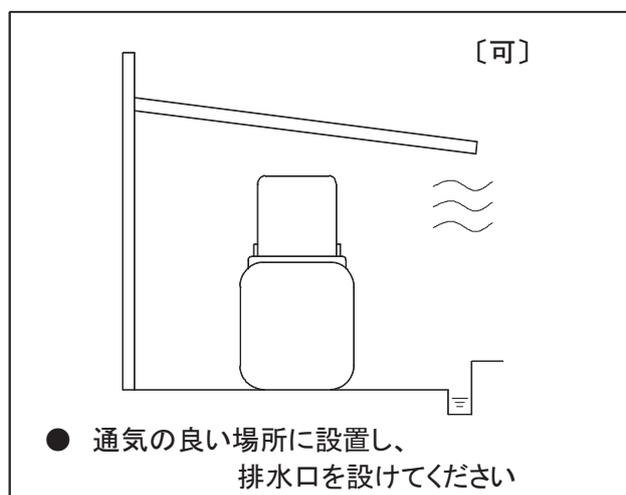


電動機や制御盤の絶縁劣化等は、漏電、感電または火災の原因となります。機器の寿命や破損防止を考慮し、換気を十分に行い周囲温度 0~40℃としてください。また、ほこり、腐食性及び爆発性ガス、塩分、湿気、結露などがなく、屋内設置型に関しては風雨や直接日光が当たらないようにしてください。

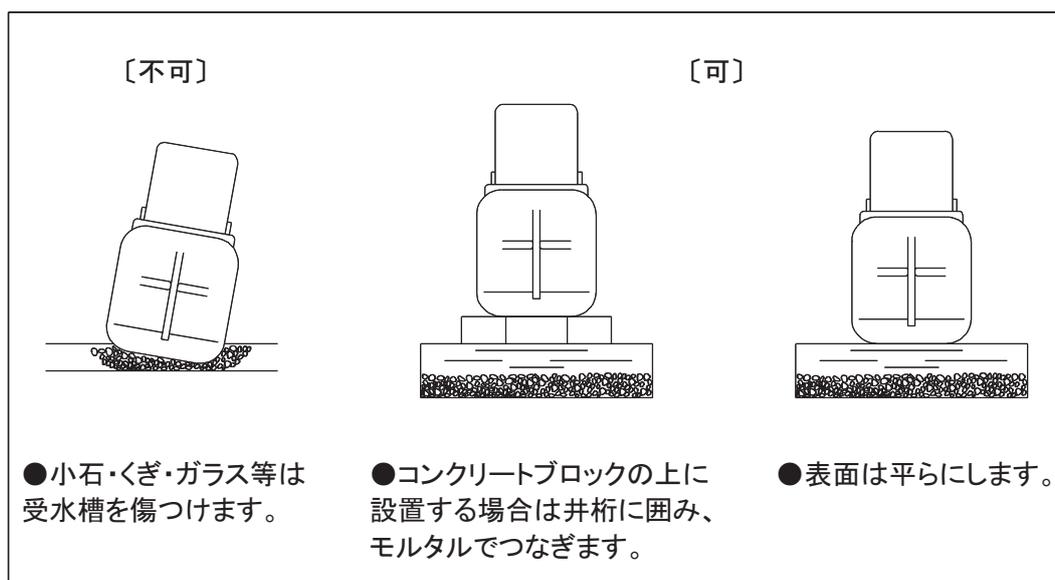
- (1) 運転中のポンプが日常監視しやすく、修理、点検が容易にできる、通気の良い場所を選んでください。



- (2) 電動機(モーター)、配電設備は、湿気を嫌います。必ず排水設備を充分に行ってください。



(3) 設置面は、ユニットの重量に充分耐えるだけの床面積と、深さをもたせてください。

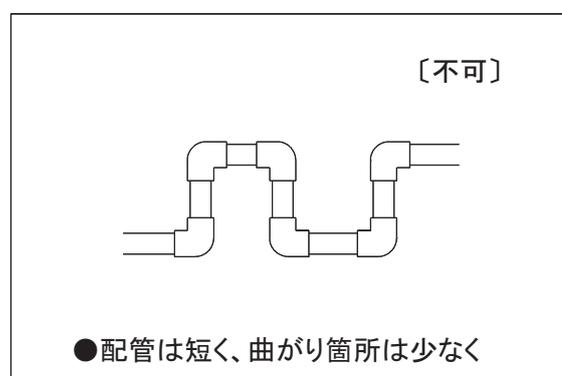


(4) 設置面は必ず水準器を用いて水平を確かめ、表面は平らにして、受水槽を傷つけないように注意してください。

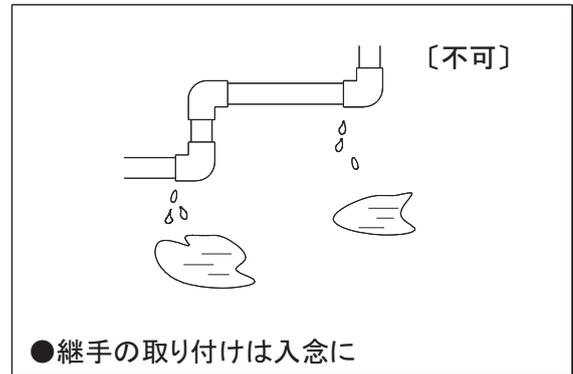
### 3.3 配管工事の注意事項

配管は、地域によっては制限される事がありますので、各水道局または自治体発行の「水道局施行基準」に従って工事を行ってください。

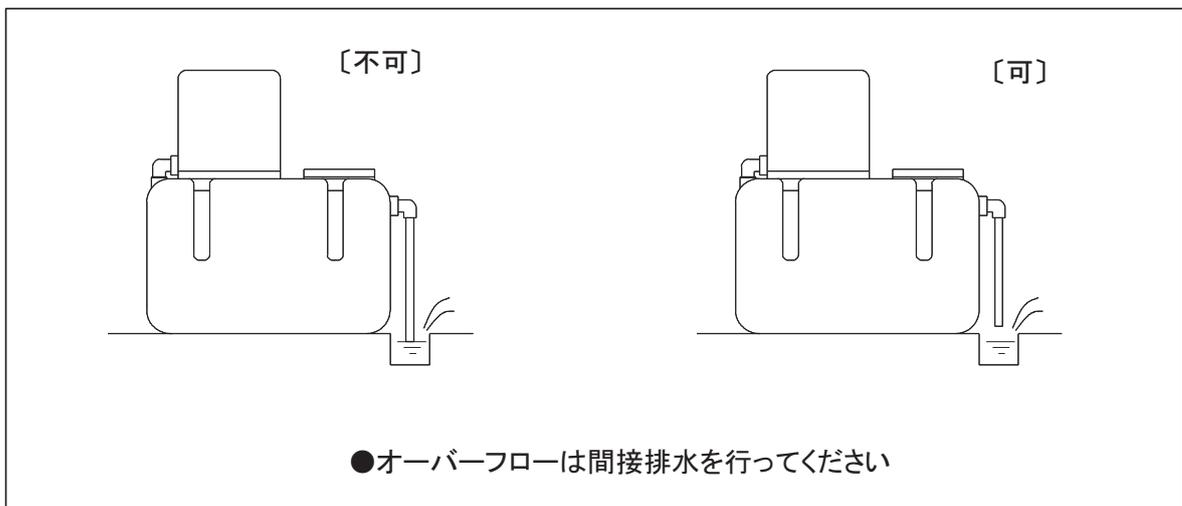
- (1) 配管は規定の太さの水道用亜鉛メッキ鋼管、配管用ステンレス鋼管、硬化塩化ビニール管、ポリエチレン管をご使用ください。細い管は性能が著しく低下します。
- (2) 給水配管、吐出配管は配管距離を短く、かつ曲がり箇所を少なくし、水の抵抗を最小限におさえてください。



- (3) 配管の継手は入念に取り付けてください。もし水漏れがあると、水量、圧力不足の状態になり、故障の原因となります。



- (4) 送水管(吐出管)の途中には仕切弁を取り付けてください。点検修理に便利です。  
(5) オーバーフロー配管の先端は必ず水面よりはなしてください。排水設備は完全にし、水の逆流を防いでください。



- (6) 数日間水を使用しない時は、受水槽内の水を入れ替えて衛生につとめてください。  
排水はドレン口より行います。(頁2-1の図参照)  
配管途中には必ず仕切弁を取り付けてください。  
(7) ボールタップ及びポンプ吐出口の接続にはフレキシブルチューブを使用してください。  
(フレキシブルチューブは特別付属品となります。)  
(8) 受水槽のドレンに配管接続する際には、ドレンアダプタ(特別付属品)を使用してください。  
ドレンアダプタに無理な力がかかると、ねじ部が破損する恐れがありますので、  
ドレンアダプタのおねじ部には必ずフレキシブルチューブを取付けて配管してください。  
(フレキシブルチューブは特別付属品となります。)

**注意**

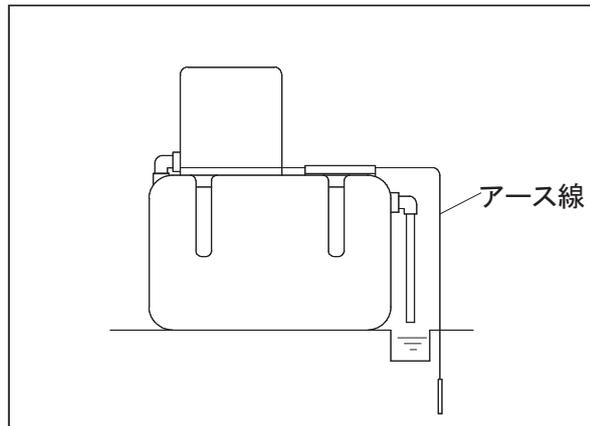
ドレンアダプタ等の樹脂部品を過度に締め付けると、  
ねじ部の破損により漏水することがあります。

### 3.4 配線工事の注意事項



配線工事は、電気設備技術基準および内線規程に従って安全かつ確実に行ってください。  
誤った配線工事は、感電や火災の原因になります。

・感電防止に備えて必ずアース線を取り付けてください。アース線はアース端子に接続してください。

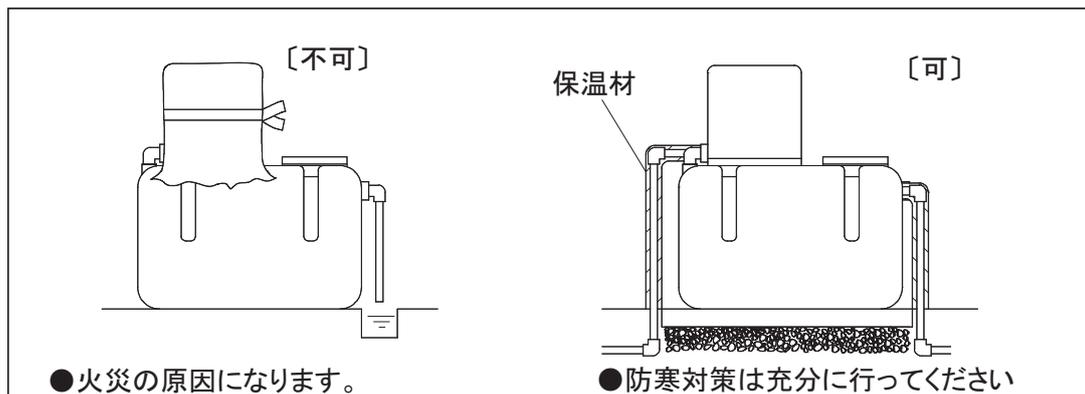


- ・アース工事は必ず電源プラグを抜くか、漏電遮断器をOFFにして行ってください。
- ・アース線をガス管や水道管に接続しないでください。爆発・感電の原因になります。

### 3.5 防寒対策に関する注意事項

冬期は暖かい地方でも急に寒波が襲い、凍結により配管、ポンプなどを破損することがあります。十分に防寒対策を行ってください。

- (1) 給水管、吐出管の横引部はできるだけ地中深く埋めてください。地上に露出している部分は、フェルト、グラスウールなどの保温材を巻いてください。
- (2) ポンプの凍結防止の為、セラミックヒーターを直接ポンプ本体に装着してあります。このヒーターは、サーモスタットにより気温の高低により作動します。(ON  $5\pm 3^{\circ}\text{C}$ 、OFF  $15\pm 3^{\circ}\text{C}$ ) 長期間使用しない等で電源を落とす場合は、凍結防止の為、必ずポンプ・配管等の水抜きを行ってください。



### 3.6 運転及び取扱い

- (1) 給水管のバルブを開き、受水槽に水を貯めてください。
- (2) 吐出管のバルブと蛇口を開いてください。
- (3) ポンプカバーを取り外してください。
- (4) 呼水口のホッパープラグを取り外し、呼水口から水があふれるまで注水してください。



**注意**

ポンプに呼水をしない状態での運転は絶対に行わないでください。  
ポンプ内の摺動部が焼付を起こす原因になります。

- (5) 異常なく運転を開始したら、蛇口を開閉してポンプが自動運転をするか、水漏れの箇所があるかどうかを確かめてください。



**注意**

運転中は、ケーシング部や電動機に触れないでください。  
高温になっていますので、やけどをすることがあります。

- (6) ①減水フロートスイッチについて(単独運転)

受水槽内の水位が一定水位以下になると、自動的にポンプが停止する「空転防止用減水フロートスイッチ」が付属されています。

- ・フロートが水没していると、自動運転可能です。
- ・フロートが完全に空気中に出ると、自動運転が出来なくなります。

- ②電極棒について(自動交互運転・自動交互並列運転)

電極棒(4P)にて、満水・空転防止(減水)・空転復帰水位を検知します。  
詳細は THP□-V-D 型・THP□-V-W 型の取扱説明書を参照ください。

- (7) 夏期には風通しを良くしてください。

梅雨時や夏期には湿度が高くなり露がつきますので、なるべく風通しよくして内部が乾燥するようにしてください。

- (8) 水抜きの方法

凍結防止、保守・点検・修理などのために、補助タンクやポンプ内の水を抜くときには、次の順序で行ってください。



**警告**

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、漏電遮断器を操作しないでください。感電の原因になります。  
・保守・点検・修理などを行う時は、必ず電源を遮断してください。  
感電やけがの原因になります。

- ① 電源を切り、蛇口を開いて水を出してください。
- ② 補助タンクのホッパープラグを取り外してください。
- ③ ポンプの排水栓を外しますと、ポンプ内の水が排出されます。
- ④ ポンプの吸込側(チェックバルブ)についているプラグと弁を外しますと、給水管内の水が受水槽の中に落ちます。
- ⑤ 排水が終わりましたら、取り外した給水栓、プラグ及び弁を元通り確実に締め付けてください。
- ⑥ 再び運転を始める時は補助タンクに呼水をして、ホッパープラグを取付け、電源を入れてください。

## 4. 故障の原因と対策

ポンプに異常がある時は、原因調査をよく行ってください。また、部品交換・修理が必要な場合は、必ず当社に依頼してください。

状 態	原 因	処 置
ポンプが回らない	停電している	電力会社に連絡する
	電源コード断線	コードを取り替える
	圧力スイッチの故障	圧力スイッチを取り替える
	電動機の故障	修理する
	減水フロートスイッチの故障	減水フロートスイッチを取り替える
	プロテクターが作動	プロテクターの復帰ボタンを押してみる 復帰ボタンを押して、すぐまた動作するような場合は、繰り返しボタンを押さず原因を取除いてから押す
	電圧の低下	電力会社に相談する
	コンデンサの不良(単相)	コンデンサを取り替える
	受水槽に水がない	水を確保する
ポンプは回るが揚水しない	吸込側より空気を吸込む	配管の継ぎ目や配管とポンプの接続部を調べて完全にす
	逆止弁(チェックバルブ)の故障	修理する
ポンプが回り続けて止まらない	圧力スイッチの故障	圧力スイッチを取り替える
	流量スイッチの故障	流量スイッチを取り替える
	羽根車の摩耗、または変形	羽根車を取り替える
水を使用しないのにポンプが回り出す	逆止弁(チェックバルブ)の故障	修理する
	配管、蛇口から漏水する	漏水する箇所を点検し、修理する
	流量スイッチの故障	流量スイッチを取り替える
蛇口の開閉に従いポンプがすぐ起動する	流量スイッチの故障	流量スイッチを取り替える
プロテクターが働く	電圧の異常低下	電力会社に相談する
	ポンプ内に異物が入った	カバーを外し異物を取除く
	モーターが唸るのみで回らない	修理する
	ポンプの凍結	お湯で氷を溶かし、保温装置を調べる



製造元

夜間・休日の修理受付  
監視センター TEL (03) 3818-6904  
FAX (03) 3818-6854

テラル多久株式会社

〒846-0023 佐賀県多久市南多久町長尾3898  
TEL (0952) 75-4123 FAX (0952) 74-2773

(テラル多久株式会社)  
修理センター(窓口) (0952) 75-4123  
部品センター 0120-24-3635  
(0952) 75-4129



お客様サポート

<https://www.teraltaku.co.jp/frmSupport.aspx>

販売元

家庭ポンプアフターサービス網

(テラル株式会社)

本社 TEL.084-955-1111	東京支社	名古屋産業システム課 TEL.052-339-0891	空間技術課広島G TEL.082-537-0660
東北支店	営業企画課 TEL.03-3818-7700	空間技術課名古屋G TEL.052-380-7544	福山営業所 TEL.084-961-0222
仙台営業所 TEL.022-232-0115	海外事業企画課 TEL.03-3818-7700	静岡営業所 TEL.054-285-3201	米子営業所 TEL.0859-32-2970
札幌営業所 TEL.011-644-2501	東京産業システム1課 TEL.03-3818-8101	沼津営業所 TEL.055-923-1377	岡山営業所 TEL.086-241-4221
北東北営業所 TEL.019-601-8818	東京産業システム2課 TEL.03-5805-1311	浜松営業所 TEL.053-463-1701	四国支店
郡山営業所 TEL.024-922-5122	東京環境システム1課 TEL.03-3818-7800	岐阜営業所 TEL.058-271-6651	高松営業所 TEL.087-867-4040
北関東支店	東京環境システム2課 TEL.03-3818-7766	関西支店	松山営業所 TEL.089-935-4335
大宮営業所 TEL.048-681-7822	東京環境システム3課 TEL.03-3818-7800	大阪第1営業所 TEL.06-4803-8805	九州支店
新潟営業所 TEL.025-287-5032	環境市場開発課 TEL.03-3818-6846	大阪第2営業所 TEL.06-4803-8806	福岡第1・第2営業所 TEL.092-474-7161
長岡営業所 TEL.0258-29-1725	東京施工管理1課・2課 TEL.03-3818-7764	大阪第3営業所 TEL.06-4803-8807	北九州営業所 TEL.093-571-5731
水戸営業所 TEL.029-224-8904	施工計画課 TEL.03-3818-7133	大阪開発グループ TEL.06-4803-8819	久留米営業所 TEL.0942-88-5825
宇都宮営業所 TEL.028-346-3400	空間技術課 TEL.03-3818-7133	大阪環境システム課 TEL.06-4803-8808	大分営業所 TEL.097-551-1857
前橋営業所 TEL.027-253-0262	給水技術課 TEL.03-3818-7133	大阪施工管理課 TEL.06-4803-8814	熊本営業所 TEL.096-380-8388
長野営業所 TEL.026-243-2860	環境技術課 TEL.03-3818-7133	大阪産業システム課 TEL.06-4803-8809	長崎営業所 TEL.095-848-2221
東京支店 TEL.03-3818-6751	営業技術課 TEL.03-3818-7133	空間技術課大阪G TEL.06-4803-8813	宮崎営業所 TEL.0985-39-1577
東京第1営業所 TEL.03-3818-7769	北陸支店	給水技術課大阪G TEL.06-4803-8813	鹿児島営業所 TEL.099-253-4321
東京第2営業所 TEL.03-3818-6752	金沢営業所 TEL.076-240-0350	滋賀営業所 TEL.077-561-7007	沖縄営業所 TEL.098-851-9591
東京第3営業所 TEL.03-5684-0238	富山営業所 TEL.076-433-2151	京都営業所 TEL.075-647-1550	
東京市場開発課 TEL.03-3818-6846	福井営業所 TEL.0776-28-5361	神戸営業所 TEL.078-251-7125	
立川営業所 TEL.042-536-2714	中部支店	姫路営業所 TEL.079-281-5511	
千葉営業所 TEL.043-264-5252	名古屋営業所 TEL.052-339-0871	中国支店	
横浜営業所 TEL.045-450-5351	名古屋環境システム課 TEL.052-339-0875	広島第1・第2営業所 TEL.082-537-0660	

●駐在所 高知、山口

2025年3月現在

支店・営業所の最新情報はこちらからご確認ください。



テラル株式会社：支店・営業所一覧

[https://www.teral.net/corporate/network\\_j/](https://www.teral.net/corporate/network_j/)



テラルテクノサービス株式会社：支店・営業所一覧

<https://www.teraltechno.com/company/sales/>

製品情報や使用方法など、お客様からのよくあるご質問・回答をご覧ください。



お客様サポート

<https://www.teral.net/support/>

お客さまへ

おぼえのために、お買い上げ年月日、お買い上げ店名などを記入してください。

お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名 (住所) (電話番号)	